

大賞

パイオニア株式会社・長野県飯綱町

長野県飯綱町では、最小のコスト、最小の環境負荷で、最大の住民サービスを実現するという方針のもと、地域の新公共交通システムの構築に取り組み、パイオニアのグループ会社であるパイオニア販売（株）（以下、パイオニア）が開発したカーナビゲーションとCTI*システムを用いたデマンドバスの運行により、住民の利便性向上とCO₂の排出削減を実現している。

*Computer Telephony Integration:電話やFAXをコンピュータシステムに統合する技術。

●デマンドバスによる公共交通システムを導入

飯綱町では、地域の路線バスの利用者が減少する中で、財政支出を行いながら運行を継続してきた。こうした状況を改善するために、バスの利用実態に関する調査を行うとともに、住民を含めた公共交通対策協議会を通じて検討を進めてきた。その結果、「みんなに便利で、わかりやすい、環境に優しい公共交通システム」の実現を基本方針とし、パイオニアのシステムによるデマンドバスの導入を決定、2007年10月に運行を開始した。

新たに導入したシステムでは、朝夕の通勤・通学時間帯は定時・定路線運行を行い、高齢者の通院や買い物などに利用される昼間の時間帯はデマンド方式による運行が行われる。地形や人口分布を考慮し、町内を大きく4地区に分けて運行することにより、交通空白地域の解消と利便性の向上を図った。



デマンドバスとカーナビゲーション

●便利さとわかりやすさを重視

飯綱町は坂道が多く冬季は積雪があるなど、高齢者や傷病者にとっては歩行による移動に支障が生じる場合がある。

デマンドバスは、予約によりそれぞれの乗客の自宅前まで送迎するシステムになっており、停留所まで移動することなく利用できる。300円の料金で自家用車やタクシーに近いサービスが提供され、「みんなに便利」な交通システムだといえる。

デマンドバスの利用者は事前登録をしておくことにより、受付センターに電話をかけて時間と行き先を伝えるだけで、受付システムの画面上に利用者の自宅が表示されるしくみになっている。受付センターでは予約情報がSDメモリーカードに書き込まれ、運転手はSDメモリーカードをカーナビゲーションシステムにセットし、画面上の経路に従って運転する。このように、利用者、受付担当者、運転手それぞれにとって「わかりやすい」システムが構築されている。



デマンドバスの受付センター（CTIシステム）

●環境負荷の低減と利用者の増加

従来の路線バスは大型車両を使用しており、定時・定路線運行のため、乗客ゼロの状態でも走行するケースも見られた。これに対し新たなシステムでは、デマンド方式による運行時は15人乗りのワゴン車を利用し、予約がない場合には運行を休止する。このため、ムダな走行や燃料の消費が少なくなり、CO₂の排出も抑制される。デマンドバスの導入により年間の燃料消費量は37.1キロリットル、CO₂排出量は110.2トン削減された。

バスの利用者は新システム導入前に比べ年間4,130人増加し、財政支出の低減にもつながっている。アンケート調査（2007年10月実施、対象者：100人）によれば、デマンドバスの利用目的は通院56%、買い物22%、役場など14%となっている。また、予約方法については85%の人が「簡単」もしくは「おおむね簡単」と回答しており、92%の人が「今後もバスを使う」と回答している。

利便性を維持・向上させながら環境負荷の少ない効率的な公共交通サービスを提供するという点で、飯綱町の取り組みは多くの地域の自治体にとって参考になるものだといえる。